

新しい時代へ向かって



*Daishin*  
construction

大伸建設 50年の軌跡



50  
th  
Anniversary

# 大伸建設は誠実に、実直に 50年をあゆみ続けて まいりました。



## contents

- 02 メッセージ
- 03 大伸建設 50年の軌跡
- 07 History of Daishin ~50年の歴史を振り返る~
- 09 企業理念
- 13 表彰工事
- 15 工事経歴
- 17 会社概要



*message*

## 設立50周年記念誌 発刊にあたって

弊社は昭和44年4月に初代代表取締役 佐藤 寛が設立し、平成31年4月設立50周年を迎える事となりました。これもひとえに創設以来支えていただきました関係各位のご厚情の賜物と感謝申し上げます。

振り返ると舗装工事専門業者として設立以来、様々な困難に直面し、激動の時代を歩み続けて参りました。その際はたくさんのお客様・地域の皆様に支えられ半世紀の節目を向かえる事ができたことは身に余る光栄でございます。これからもお客様に信頼される企業として積み重ねてきた経験を糧に精進して参る所存です。

変化が著しい時代のニーズに対応し、新しい時代と共にこの地域を誇りに思い、地元企業としての責任を果しながら笑顔溢れる企業を目指し、新しい一歩を踏み出して参りますので、これからも皆様のご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

代表取締役 佐藤 剛





# 50年 の 軌跡

Story of Daishin

株式会社大伸建設は創業以来、誠実に、実直に歩みを続け  
「令和」という新時代の幕開けとなる2019年、  
創業50周年の節目の年を迎えることができました。  
そこで、3代にわたる代表取締役の足跡とともに  
半世紀の軌跡を振り返ってみたいと思います。



1969 → 2019



Daishin construction

～大伸建設 50年のあゆみ～

50th  
Anniversary

## 「仏の寛さん」と呼ばれた 創業者・佐藤 寛のあゆみ

のちに株式会社大伸建設の創業者となる佐藤 寛は、1913(大正2)年、石巻市に生まれた。石巻尋常高等小学校を卒業後、東京府の公務員勤めを経て、1937(昭和12)年、大手道路舗装会社だった日本鋪道株式会社(現・株式会社NIPPO)に入社した。四国や北東北などを転任し、工事主任として従事していた。その後、1956(昭和31)年に仙台支店に配属となり、1967(昭和42)年頃より仙北出張所にて所長を務め、登米地域で人脈を広げていった。

1968(昭和43)年12月に55歳で定年退職したのを機に、翌1969(昭和44)年4月、故郷の石巻市にて、アスファルトの舗装工事、土木工事の下請けを行う株式会社大伸建設を起業し、初代代表取締役に就任した。一時は仙台市内に本社を移すものの、1977(昭和52)年、中田町石森(現・登米市中田町石森)に本社移転、登米地域を拠点に企業活動を行うようになった。ちょうど登米地域の道路工事が盛んだった時期もあり、仕事に困ることはなく、日本鋪道時代に培ってきた人脈を活かして多くの工事を受注していた。

しかし、頼まれると嫌と言えない性格上、採算の合わない工事を請け負うことも多かった。「貧困家庭の人たちを労働者として雇い入れていた」「自分が苦しくても給料とは別に従業員に小遣いを渡していた」「取引先手形決済



初代／佐藤 寛

に利子をつけて支払っていた」などの逸話も残されているほど。その人柄の良さから人望は非常に厚く、周囲からは「仏の寛さん」と呼ばれ、慕われていた。

1978(昭和53)年頃、病に倒れ、1984(昭和59)年には専務を務めていた長男の進に代表の座を譲り、第一線から引退。1988(昭和63)年4月、惜しまれながらこの世を去った。

## 下請けとして業績を伸ばした 2代目・佐藤 進のあゆみ

2代目代表取締役の佐藤 進は、1943(昭和18)年生まれ。仙台育英高等学校を卒業後、1962(昭和37)年、石巻市の土木・建築工事会社である株式会社丸本組に入社し、業務経験を積んだ。そして1969(昭和44)年25歳の時創業と同時に株式会社大伸建設に入社。専務取締役の任に就き、父・寛の右腕として大いに活躍した。寛が病に倒れた後は陣頭指揮に当たり、経営手腕を発揮していたが、初代・寛から後を託され、1984(昭和59)年6月1日、当時41歳で2代目代表取締役に就任した。

初代が基盤を形成し、取引業者からの信用を得ていたため「苦勞はあまりしなかった」と家族には話していたというが、実は「就任後2年で借金を返せなかった時には会社を解散する」と悲壮な覚悟を決めていたという。しかし、そんな心配も取り越し苦勞に終わる。時代はバブル景気前夜。建設業界が上り調子の時期だったことも幸いし、従業員が一丸となって順調に業績を伸ばしていくのだった。

ゴルフが大好きだったという進は、仕事上の付き合いだけではなく、趣味のゴルフを通して人間関係を構築していく、その関係で工事を受注することも多かったようだ。地元業者から大手の道路専門業者まで幅広く取引先を拡大し、初代・寛の時代には15社程度だった取引業者数は、2代目・進の時代に100社にまで膨れ上がった。「当社は下請けで生きていく」と常々話していた通り、受注した



2代目／佐藤 進



宝江分教場前線舗装工事／昭和55年

仕事のうちの9割が下請けの仕事であった。体が小さく、無口ながらも義理人情には厚い性格で、取引先からは「大ちゃん」との愛称で親しまれていた進。「舗装は大伸」を口癖に精力的に営業活動に飛び回ってた。

しかし、1995(平成7)年に病床に伏し、一度は復帰したものの、1997(平成9)年7月、53歳という若さで帰らぬ人となつた。



館大岳線農道舗装工事／昭和59年

## 建設不況の時代を乗り越えた 3代目・佐藤 剛のあゆみ

3代目代表取締役の佐藤 剛は、中田町石森の出身で、1971(昭和46)年生まれ。1989(平成元)年に上沼農業高等学校農業土木課を卒業後は、他業種をいくつか経験し、1991(平成3)年に株式会社大伸建設に入社した。入社後は先輩社員たちに鍛えられ、現場作業を一から、それこそスコップの使い方からたたき込まれた。

入社3年目頃から頭角を現し始めた剛。現場代理人・主任技術者として従業員を取りまとめ、現場を動かすようになり、1995(平成7)年には取締役に就任。その後、2代目・進が他界したのを受け、弱冠26歳で3代目代表取締役に就任した。ちょうど現場が楽しいと感じるようになっていた時期であり、当時の従業員はみな年上で社歴も上の人たちばかり。大きな戸惑いを感じながらも、従業員やお客様に支えられながら、右も左もわからない経営業務に奮闘する日々が続いた。

当時の建設業界はというと、激動の時代であった。1991(平成3)年から始まったバブル崩壊を契機とした建設市場の急激な縮小。さらに、宮城県を大きく揺るが

した、1993(平成5)年に端を発したゼネコン汚職事件。これらにより、経営不振に陥るゼネコンが急増し、下請け会社にも受注数減、単価減という形で弊害が出るようになった。株式会社大伸建設もそのあたりを



3代目／佐藤 剛

受け、1999(平成11)年頃には倒産の一歩手前まで追い込まれてしまった。

しかし、怪我の功名とでもいうのか、ゼネコン汚職事件の影響で入札制度が変わったことが、逆にプラスに働いた。県道のアスファルト舗装の仕事を元請けとして受注することができたのであった。それまで、元請けの仕事は市町村止まりであったが、県からの仕事をもらえるようになったことで業績が上向いた。

また、大きな不渡りを被った翌年に、運良く道路の凍上災害に対する復旧工事の仕事を得ることができ、息を吹き返したこと也有った。2011(平成23)年に起きた東日本大震災後は、復興需要もあって業績はさらに上向きに。剛の代になってからというもの、ピンチは一度や二度ではなかったが、その都度いろいろな人に助けられながら、また、運を味方に受注を得ながら、何とか乗り切ってきたのであった。

しかし、業績を回復することができた背景には、他力に頼るだけでなく、剛自身の努力もあった。剛は先代の進から、「私が培ってきたつながりも大事にしてほしいが、君自身でどんどん人脈を広げていってほしい。仕事は何をおいても人の付き合い、つながりだ」という言葉を託されていた。その言葉を胸に、人脈作りに勤しみ、行政



上沼外舗装補修工事／平成31年



Daishin construction

～大伸建設 50年のあゆみ～

50th  
Anniversary

安全大会

災害対応訓練

や大手ゼネコン会社、地元業者など新たな取引業者を次々と開拓していったのだ。時代の変化にも機敏に目を向け、元請けの仕事を増やしていくのも、業績回復の一因となった。進の時代には下請けの仕事が9割を占めていたのに対し、現在は元請けの7割、下請け3割に。さらに、保有機械も引き継いだ時はアスファルトフィニッシャーを含め5台程度だったが、30台程所有するに至った。また、歴代従業員にも恵まれ、最近では若手従業員を積極的に採用し、順調に業務を拡大していった。

直近では、2018(平成30)年12月に開通した「みやぎ県北高速幹線道路」の2期中田工区4.7kmのうち、中田IC付近の1.8kmの区間の工事を県より受注し、担当した。株式会社大伸建設にとっては1年5ヶ月を費やす一大プロジェクトとなり、受注額もこれまでの最高額を記録するに至った。この工事の成功は、会社全体に大いなる自信をもたらすことになると同時に、今後も大きなプロジェクトを受注する素地が整ったといえるだろう。

## 「地域貢献」を果たすために さまざまなCSR活動を推進

企業活動における剛の信念は、企業方針(P.8参照)に凝縮されている。なかでも最も強い想いが込められているのが、「地域貢献」というキーワードである。東日本大震災を経て、「建設業はインフラの町医者のような存在。地元の一企業として存続していくことには、災害が起きた時などにライフラインを確保するお手伝いができる。だからこそ、業績を残し、存続していく責任がある」という想いを改めて強く持つに至った。「存続していくため」、

そして企業としてのCSR(社会的責任)を果たすため、大伸建設ではさまざまな取り組みを行っている。

品質面では、「ISO9001:2015」を認証取得し、企業の信用を高めるとともに、社員の品質に対する意識向上を図っている。また、社員の安全教育にも尽力しており、資格取得をサポートするほか、年に一度、社員や協力会社を集めて大規模な安全大会を実施し、事故防止の啓発に努めている。

企業方針にある「創意工夫」にも日々、取り組んでいる。「周りと同じことをしていては駄目。自分たちで効率や安全を考えながら、常に新しいことに挑戦していくべき」という考え方から、新しい機械や技術、工法も積極的に取り入れ、工事に活用している。

また、近年力を入れているのが社員の福利厚生である。特に健康管理や健康意識の改善に取り組んでおり、その成果が認められ、2019(平成31)年3月、職場健康づくり宣言制度に基づき、宮城県から「スマートみやぎ健民優良賞 企業部門」として表彰を受けた。

少子化が叫ばれる現代。企業の存続のためには、担い手の育成が大きな課題となる。「今後は働き方改革や女性活躍推進といった分野の取り組みもさらに強化し、後進の育成に努めながら、優れた技術と誠実なサービス、より良い商品を提供していきたいと考えています。そして、地域に根差した企業活動を通し、この登米地域を少しでも良くするお手伝いをしていきたいですね」と決意を新たにする剛。新たな時代が幕を開けた令和元年の今年、節目の創業50周年を迎えた株式会社大伸建設は、この先の10年後、20年後を見据え、これまで以上に地域社会に貢献し続けていく。

# History of Daishin

大伸建設の50年の歴史を振り返る



1969(昭和44年)

佐藤 寛他

7名の発起人により

(株)大伸建設設立。



1980(昭和55年)

登米市中田町へ本社移転

1970

1980

1975(昭和50年)

資本金増資、  
設立以来初めて  
公共工事を元請けで  
受注する。



1993(平成5年)

資本金増資1000万円、自社所有の  
新社屋完成・現社屋へ移転

1990

1995(平成7年)

アスファルトフィニッシャー購入

1969 1970

1969 石巻市門脇に於いて  
(株)大伸建設設立・資本金100万円  
本社移転・仙台市長町へ

1973 住所表示実施による所在地名の変更・  
仙台市緑ヶ丘

1975 資本金増資・資本金700万円  
宮城県知事許可(般-49)第4872号  
ほ装工業事業

1977 中田営業所設置・中田町石森字塚崎12

1980

1980 本社移転・中田町石森字塚崎12へ  
宮城県知事許可(般-55)第4872号  
土木工事業、とび・土工工事業  
新規業種の追加  
1981 土木工事業、とび・土工工事業、  
ほ装工業事業  
一般での申請年度統一  
1984 代表取締役 佐藤 進 就任

1990

1993 資本金増資・資本金1,000万円  
本社移転・中田町石森字塚崎12から  
中田町石森字新塚崎126へ  
1997 代表取締役 佐藤 剛 就任  
1998 住所の表示変更(地方自治法第260条)  
中田町石森字加賀野三丁目8番地の32  
1999 資本金増資・資本金2,000万円



Daishin construction

～大伸建設 50年のあゆみ～

50  
th  
Anniversary



2019(平成31年)  
スマートみやぎ健民優良賞  
企業部門 受賞



2018(平成30年)

一般社団法人宮城県建設業協会 入会  
活動趣旨に賛同し入会を申し込みし、入会承認される

1999(平成11年)  
資本金増資2000万円

取引先倒産が相次ぎその影響もあり、  
経営が悪化する

2020

2010

2014(平成26年)

品質マネジメントシステム ISO9001認証取得  
安定した高品質の工事物提供の実現の為、  
システム構築・展開

2010(平成22年)

環境マネジメントシステム みちのくEMS認証取得  
明るく豊かで快適な環境持続実現する為、  
環境負荷低減・環境保護活動を展開

2004(平成16年)  
一般から特定建設業へ変更

1998(平成10年)  
宮城県より初の元受け  
工事を受注する

1997(平成9年)  
佐藤 剛 代表取締役就任  
2代目の他界により若干26歳で就任。

2000

2003 宮城県 産業廃棄物収集運搬業許可取得

2004 宮城県知事許可(般-16)第4872号 建築工事業、新規業種の追加

宮城県知事許可(特-16)第4872号 土木工事業、とび・土工工事業、ほ装工事業、塗装工事業  
一般から特定へ許可変更と新規業種の追加

2006 岩手県 産業廃棄物収集運搬業許可取得

2007 宮城県知事許可(特-19)第4872号 水道施設工事業、新規業種の追加

2009 宮城県知事許可(特-21)第4872号

土木工事業、とび・土工工事業、ほ装工事業、塗装工事業  
水道施設工事業、特定での申請年度統一

2010

2010 みちのくEMS認証登録

2014 ISO9001:2008認証登録

2017 ISO9001:2015改訂

2019 解体工事業 新規業種追加

宮城県知事許可(特-1)第4872号

建築工事業 一般から特定へ許可変更



# 地域社会に貢献するために、 さまざまな事に 取り組んでまいります。

## 社 訓

思考・情熱・挑戦・計画・  
才覚・達成・協調

## 企業理念

安心安全な職場と、顧客に対し  
誠心誠意尽くすため、  
常に創意工夫を忘れることなけれ。

1

顧客の信頼に応える為、  
プロ意識を持ち社内一丸となって、  
優れた技術と誠実なサービスを提供し、  
より良い商品を造り地域社会に  
貢献する。

2

安全意識向上を図り、  
労働災害撲滅の実現に向けて、  
作業環境の整備及び  
自己啓発に努める。

## 企業 方針

3

創意工夫とコスト意識を持って、  
組織人として協調し、  
共に働く我らの生活向上と  
企業発展を追求する。

## 行動方針

### 1 思考せよ

日頃から問題意識をもつことが大切です。どんなに優秀な人でも、現状に甘んじて何の問題意識も持たなければ、明日への進歩はありません。今日の自分より、明日成長した自分を願うからこそ、初めて問題意識が生れ、現状に甘んずること無く何事にもチャレンジできるのです。  
周囲に対する不平・不満という低次元の思考ではなく、自分自身に何ができるか考えなければなりません。問題の発見と解決が、己が成長する鍵です。

### 2 情熱をもて

誰しもが、人生において様々な問題に遭遇します。もちろん長年経験することにより対処出来る場合もあるが、その時々により対応を迫られたとき、失敗するか成功するかは、人の能力よりも、情熱の度合いによって決まります。時には失敗をする時もあるでしょう。しかし、常に情熱をもって対応することにより、またいつか問題に遭遇した時、その経験が生かされ無事に乗り越えられます。  
情熱は成功への出発点であり、情熱を持った社員は企業にとって宝です。

### 3 常に挑戦せよ

自分の考えは、行動を重ねることで確信となります。失敗を恐れ他人の目を気にしては進歩がありません。建設業では若くしてリーダーとなり、作業所の指揮・監督をする立場に置かれことがあります。その中で「この仕事は他人の仕事である」と見て見ぬ振りをしている人もいます。しかし、誰よりも自分が率先して行動する積極的な姿勢をみせることで、水面に波紋がひろがるように自然と他人も動かされます。何事にも挑戦する気持ちを大切にし、限界から一歩踏み出すことで自分自身進化できるのです。

### 4 計画をもて

チームをまとめるには必ず方向性が必要です。  
それが無目的に、無方向に分散されたとき、せっかくの力も意味をなさないことになります。私たちも自信をもって行動していく上で、必ず明確な計画を示す必要があります。より具体的に明文化することで、現実と目標の距離が把握でき、そこからやる気と工夫が生まれます。  
そうした創意工夫を繰り返し、日々の計画と目標を持つことで、明日への希望と努力が生れてくるのです。

### 5 才覚をだせ

毎日の仕事は、作業内容によって多少違いはあるとしても、良い商品(工事)を造るために日々計画をたて、目標に向かって仕事をしています。しかし、必ずしも計画どおりに物事は進む訳ではありません。様々な要因で、自分の思い描いた方向に進まない時に、どのように対処して良い結果に結びつけるかが重要です。そのためにも、常にプロセス(行程)は一つで無く、様々な可能性を模索して少なくとも三つ用意しておくことが必要です。急なトラブルにも的確な対応をするために才覚を發揮して対処することが必要です。

### 6 達成せよ

楽しくなければ決して良い仕事は出来ません。もちろん仕事ですから辛い事、苦しい事はつきものです。しかし、仕事が楽しいかどうかは本人が仕事を受身でやるか、攻めの心構えでやるかで違ってきます。そもそも仕事とは自ら創るものであり、与えられるのではありません。  
やり甲斐や充実感は、仕事の苦しさやつらさの尺度ではなく、いかに自分のものとして積極的に取り組み、やり遂げることで「その仕事をやって良かった」という達成感・満足感がえられるものでなくてはいけません。

### 7 協調する

個の力は協調することで力が倍増されます。今まで自分でやってきた仕事に対して、他人に意見を聞くことや、手伝ってもらうことは勇気のいることです。「ここまで自分でやってきたのだから自分だけでやってみたい」と思うのは確かに責任感を持つ意味でも大切です。しかし、仕事の成功を願うのであれば、広く周囲に意見を求め、様々な思考を凝らすことで互いに成長し、将来的に良い結果になるはずです。  
仕事の成功、同僚との信頼関係そして自己の人間的な成長は協調する心から生れます。

地域社会に貢献するために、さまざまな事に取り組んでまいります。

## 環境方針

### 基本理念

株式会社大伸建設は、地球環境問題を人類永遠の課題と捉え、弊社に関する全員が環境保護活動の重要性を認識し、「明るく豊かで快適な環境」の持続を実現するため、環境負荷の低減・環境保護を積極的に展開する。

### 基本方針

- ① 株式会社大伸建設は、環境に配慮した施工により、社会に対して環境保護活動を積極的に展開する。
- ② 環境目的と環境目標を定め、全従業員は一致協力してその達成に努める。目的と目標は定期的に見直す。
- ③ 弊社のあらゆる活動において発生する環境に及ぼす影響を常に認識し、以下の項目に取り組み、環境汚染の予防ならびに継続的改善に努力する。
  - 廃棄物の削減・リサイクルの推進による環境保護
  - すべての使用材料の省資源化
  - 省エネルギーの推進と再生可能エネルギー有効利用
  - 社会貢献における地域清掃活動の実施
- ④ 環境側面に関する法規則、及びその他の要求事項を遵守する。
- ⑤ この環境方針は、当社社員及び当社に関する全員に周知すると共に、一般にも開示する。



m-ems10028



みちのく環境管理規格認証  
登録証

## 品質方針

株式会社大伸建設は、顧客のニーズや社会環境の変化を常に把握し、プロ集団として自由な発想と情熱をもち、「技術・品質・サービス」の調和のとれた高品質な工事物を提供する。

### 重点事項

- ① 美しい現場運営で、安全で高い品質の施工を行い、常に顧客が満足するサービスを提供する。
- ② コストダウン、工期短縮を徹底し、業務効率の向上を図る。
- ③ 日々、創意工夫と技術の向上に努め、商品価値を追求する。
- ④ 品質マネジメントシステムの有効性を継続的に改善する。



ISO9001 Q2990



品質マネジメントシステム  
ISO9001 登録証



## CSR（社会的責任）活動等

### 社会貢献・環境保全活動の実施

#### ●一般社団法人宮城県建設業協会

災害対策基本法に基づく宮城県の「指定地方公共機関」に指定されており、これまで以上に災害対策に対応し、地域及び住民の安全・安心と快適な暮らしの実現にむけ活躍しております。その他、献血活動・河川清掃活動・子ども110番パトロール事業等様々な活動に会員として参加しております。

#### ●建設業災害防止協会 宮城県支部

建設業労働災害防止協会(略称:建災防)とは、建設業における労働災害の絶滅をはかるため、労働災害防止団体法(昭和39年9月施行)に基づいて設立された団体です。

#### ●中田建設業協会

登米市内の建設業者で構成され、登米市と災害協定を結び、災害時の緊急対応や復旧業務を実施しております。また、市道除草作業など奉仕作業など、会員として参加しております。

#### ●境堀排水路環境保全会

境堀排水路(石森地内)の除草作業や清掃活動を実施し、環境保全に会員として貢献しています。



中田建設業協会 活動の様子



境堀排水路環境保全会 活動の様子

#### ●スマイルサポーター認定企業

ボランティアで道路(国道346号線・石森地内)の清掃や除雪作業を行い、良好なまちづくりに積極的に取り組む団体として認定され活動しております。

#### ●AED設置事業所

本社にAED(自動体外式除細動器)を設置し、地域住民の皆様や従業員のため、もしもの場合に備えております。

#### ●登米市消防団協力事業所

消防団活動に積極的に協力している事業所として、登米市から表示証を交付され、地域の消防防災力の充実強化に貢献しております。

#### ●太陽光発電システムの導入

太陽光発電の最大の特長は、エネルギー源が無尽蔵で、クリーンである点です。火力発電のように、発電時にCO2などの大気汚染物質がなく、環境保全に寄与しております。



太陽光発電システム／本社



スマイルサポーター周知看板

### 安全衛生活動の実施

株式会社大伸建設では、年1回の安全大会の実施と、毎月の安全委員会による安全パトロール・安全教育を行い、事故防止に努めています。

### その他の主な取り組み

#### ●ポジティブアクション

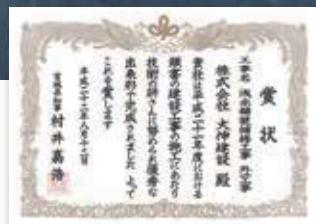
弊社は女性が職場において能力を十分に發揮できるようにするための積極的な取り組み、いわゆる「ポジティブアクション」を積極的に推進し、「女性のチカラを活かす企業」として宮城県知事より認定を頂きました。

#### ●職場健康づくり宣言

職場健康づくり宣言制度に基づき、6つの取り組みを実施することを宣言し、全国健康保険協会宮城支部より認定を頂きました。



平成22年度  
▶原・青島2期地区  
農道舗装工事



平成23年度  
▶佐沼舗装補修工事



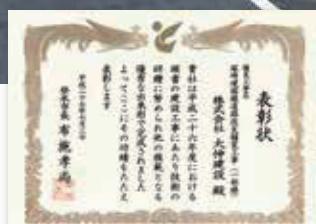
平成23年度  
▶西針田  
舗装補修工事



平成26年度  
▶大手口小倉線道路  
改良舗装工事



平成27年度  
▶塙崎境堀線道路  
改良舗装工事



平成27年度  
▶中排水線(3工区)  
道路改良舗装工事

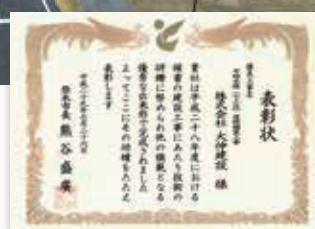




平成28年度  
▶岩沢外舗装補修工事



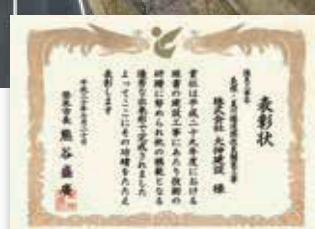
平成29年度  
▶中排水線(7工区)  
道路舗装工事



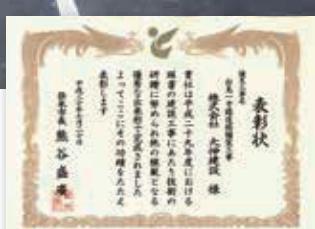
平成29年度  
▶水道106号線他  
舗装復旧工事



平成30年度  
▶長根・夏川線道路  
改良舗装工事



平成30年度  
▶白鳥1号線  
道路舗装工事



### そのほかの表彰工事

#### 表彰年度

#### 表彰工事

平成19年 ▶大岳地区農道舗装工事(宮城県)

平成21年 ▶柳津舗装補修工事(宮城県)

平成22年 ▶浅水舗装補修工事(宮城県)

平成24年 ▶大林舗装補修工事(その3)(宮城県)

平成26年 ▶水道施設災害復旧 舗装復旧工事(登米市)

平成27年 ▶迫地区(きめ細)道路舗装工事(登米市)

平成28年 ▶中排水線(5工区)道路改良工事(登米市)

平成28年 ▶水道2069号線舗装復旧工事(登米市)

平成29年 ▶中排水線(6工区)道路改良舗装工事(登米市)

平成30年 ▶水道6005号線他舗装復旧工事(登米市)

# 工事経歴

History Construction



細谷幹線舗装工事



蓬田野元線舗装工事



石森白地線舗装工事



長谷山中央線舗装工事



下在線道路改良舗装工事

| 年度          | 主な工事                    | 工事件数   |
|-------------|-------------------------|--------|
| 1969(昭和44)年 | ▶志津川・津谷道路舗装工事(下請工事)     | 他 9件   |
| 1970(昭和45)年 | ▶迫・柳津道路舗装工事(下請工事)       | 他 26件  |
| 1971(昭和46)年 | ▶石越・今道道路舗装工事(下請工事)      | 他 25件  |
| 1972(昭和47)年 | ▶石越・西門沖道路舗装工事(下請工事)     | 他 44件  |
| 1973(昭和48)年 | ▶栗駒公園線特殊改良4種工事(下請工事)    | 他 35件  |
| 1974(昭和49)年 | ▶七ヶ浜謫地区舗装新設工事(下請工事)     | 他 40件  |
| 1975(昭和50)年 | ▶新生園舗装工事                | 他 27件  |
| 1976(昭和51)年 | ▶浅水農道舗装工事               | 他 61件  |
| 1977(昭和52)年 | ▶冠木川欠線舗装工事              | 他 33件  |
| 1978(昭和53)年 | ▶新田6号線改良舗装工事            | 他 119件 |
| 1979(昭和54)年 | ▶石森永井線舗装工事              | 他 132件 |
| 1980(昭和55)年 | ▶永田線舗装工事                | 他 160件 |
| 1981(昭和56)年 | ▶富永～松原線舗装工事             | 他 199件 |
| 1982(昭和57)年 | ▶午房坪線舗装工事               | 他 201件 |
| 1983(昭和58)年 | ▶南大畑線特殊改良4種工事           | 他 194件 |
| 1984(昭和59)年 | ▶館大岳線農道舗装工事             | 他 299件 |
| 1985(昭和60)年 | ▶新田地区農道整備2工区舗装工事        | 他 297件 |
| 1986(昭和61)年 | ▶公共土木施設災害復旧工事           | 他 342件 |
| 1987(昭和62)年 | ▶蓬原東線舗装工事               | 他 238件 |
| 1988(昭和63)年 | ▶式耕中央1号線交通安全施設等整備事業1種工事 | 他 325件 |
| 1989(平成元)年  | ▶役場前線舗装工事               | 他 306件 |
| 1990(平成 2)年 | ▶俵敷八幡山線舗装工事             | 他 313件 |
| 1991(平成 3)年 | ▶沼畑,登米線舗装補修(II)工事       | 他 321件 |
| 1992(平成 4)年 | ▶加賀野区画道路9-1他舗装工事        | 他 266件 |
| 1993(平成 5)年 | ▶農道永田線舗装工事              | 他 267件 |



糠塚1号線外3路線(糠塚1号線工区)道路改良舗装工事



支所線道路改良舗装工事



| 年 度         | 主な工事                        | 工事件数   |
|-------------|-----------------------------|--------|
| 1994(平成 6)年 | ▶川面線舗装補修工事                  | 他 325件 |
| 1995(平成 7)年 | ▶葉ノ木立6号線舗装工事                | 他 358件 |
| 1996(平成 8)年 | ▶東表前7号線舗装工事                 | 他 367件 |
| 1997(平成 9)年 | ▶蓬田野元線改良舗装工事                | 他 476件 |
| 1998(平成10)年 | ▶富永松原線舗装改修工事                | 他 460件 |
| 1999(平成11)年 | ▶中田地区なかだ農村公園施設整備工事          | 他 297件 |
| 2000(平成12)年 | ▶宝江公民館前舗装工事                 | 他 299件 |
| 2001(平成13)年 | ▶首無・吐出線他1路線道路災害復旧工事         | 他 281件 |
| 2002(平成14)年 | ▶新井田舗装補修(その2)工事             | 他 243件 |
| 2003(平成15)年 | ▶集落道路役場前線改良舗装工事             | 他 380件 |
| 2004(平成16)年 | ▶西野舗装補修工事                   | 他 379件 |
| 2005(平成17)年 | ▶津谷松尾舗装補修工事                 | 他 349件 |
| 2006(平成18)年 | ▶浅水新田道路災害復旧工事               | 他 296件 |
| 2007(平成19)年 | ▶西野舗装補修工事                   | 他 346件 |
| 2008(平成20)年 | ▶富永松原線第2工区改良舗装工事            | 他 204件 |
| 2009(平成21)年 | ▶前田道路改良(舗装)(その1)工事          | 他 197件 |
| 2010(平成22)年 | ▶入谷舗装補修工事                   | 他 199件 |
| 2011(平成23)年 | ▶大林舗装補修工事(その3)              | 他 224件 |
| 2012(平成24)年 | ▶下在線道路改良舗装工事                | 他 265件 |
| 2013(平成25)年 | ▶大手口小倉線道路改良舗装工事             | 他 201件 |
| 2014(平成26)年 | ▶上沼外舗装補修工事                  | 他 259件 |
| 2015(平成27)年 | ▶岩沢外舗装補修工事                  | 他 224件 |
| 2016(平成28)年 | ▶寺池道路改良工事(改良)(その3)          | 他 199件 |
| 2017(平成29)年 | ▶錦織道路改良工事(舗装)               | 他 193件 |
| 2018(平成30)年 | ▶みやぎ県北高速幹線道路(中田工区)舗装(その2)工事 | 他 130件 |



梅ノ木・駒引線舗装補修工事



寺池道路改良工事(改良)(その3)



波伝谷道路舗装工事



みやぎ県北高速幹線道路(中田工区)舗装(その2)工事



牛ヶ沢・小友線外2道路災害復旧工事



新田町線外舗装補修工事



板倉自歩道設置工事(その3)

# 大伸建設は新しい時代と共に、一



## 会社概要

商 号 株式会社 大伸建設  
本 社 宮城県登米市中田町石森字加賀野三丁目8番地の32  
代 表 代表取締役 佐藤 剛  
設 立 昭和44年4月25日  
資 本 金 2,000万円  
営業品目 補装工事・土木工事の請負  
《建設業許可》  
宮城県知事 許可(特-01)第4872号  
土木工事業 建築工事業 とび・土工工事業 補装工事業  
塗装工事業 水道施設工事業 解体工事業  
従 業 員 37名(2019年4月現在)  
〈有資格者数〉  
1級土木施工管理技士:8名 1級機械施工管理技士:3名  
1級建築施工管理技士:1名 1級補装施工管理技術者:5名  
2級土木施工管理技士:6名 2級機械施工管理技士:6名  
2級建築施工管理技士:1名 2級補装施工管理技術者:4名  
認証登録 ISO9001:2015 みちのくEMS:規格第3版

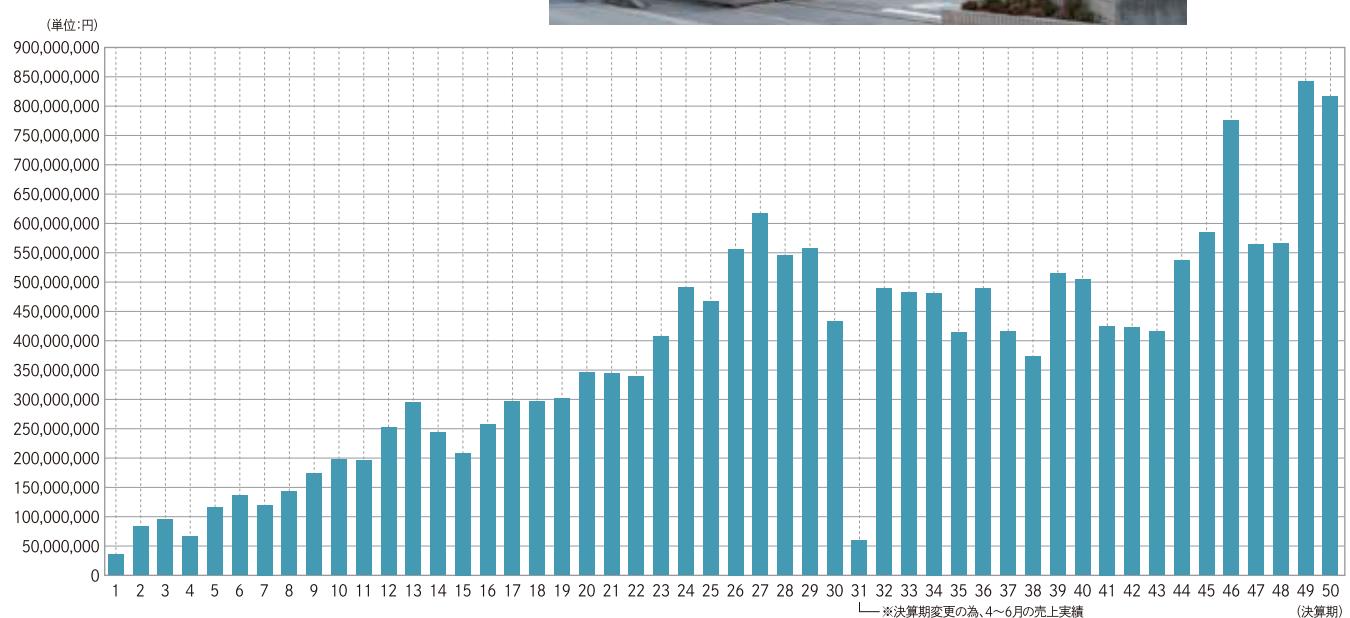
## 保有機械

|                          |    |
|--------------------------|----|
| アスファルトフィニッシャー HA60C      | 2台 |
| アスファルトフィニッシャー HA45C-10   | 1台 |
| アスファルトフィニッシャー HB14       | 1台 |
| モーターグレーダ GD405A          | 2台 |
| モーターグレーダ GD221A          | 1台 |
| 振動タンデムローラ SW652          | 1台 |
| タイヤローラ CP-210            | 1台 |
| コンバインドローラ TW354          | 3台 |
| 振動タンデムローラ SW354          | 1台 |
| タイヤローラ TS160-2           | 2台 |
| タイヤショベル WA30             | 5台 |
| タイヤショベル WA40             | 2台 |
| ブルドーザー D3K               | 1台 |
| バックホウ 0.45m <sup>3</sup> | 2台 |
| バックホウ 0.25m <sup>3</sup> | 2台 |
| バックホウ 0.2m <sup>3</sup>  | 1台 |
| バックホウ 0.14m <sup>3</sup> | 1台 |
| バックホウ 0.11m <sup>3</sup> | 2台 |

# 歩一步確実に前進してまいります



売り上げ高の推移





## 株式会社 大伸建設

〒987-0601

宮城県登米市中田町石森字加賀野3丁目8-32

TEL.0220-34-2547 FAX.0220-34-6751

<http://daisinkensetu.co.jp>

